

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

特集

若い世代がクラブ運営に参画しているクラブ

若い力で地域のスポーツ環境を変える!
～ NPO 法人ウィル大口スポーツクラブ ～



ココに注目!

- ① 事務局長の古田政一さん
- ② 20～30歳代のスタッフで運営!
- ③ 10年後のクラブビジョンとは?

1 事務局長の古田政一さん

NPO 法人ウィル大口スポーツクラブの事務局長である古田政一さんは、20歳代の頃、自身が社会人サッカー選手として活動する中で、自身の地域には子どもたちがスポーツする環境が整っていないことから、平成9年にサッカークラブを立ち上げ約200名の子どもたちを指導していました。

やがて地域で熱心に子どもたちを教えている姿が、行政の目に留まり総合型クラブ設立に向けた相談を受けたことをきっかけに平成14年にクラブを設立しました。活動当初から行政依存ではなく、民間の力で運営するという方針がクラブ側と行政側との間で共有されており、地域のプールやグラウンドの指定管理を受けながら、補助金や助成金などを受けずに運営しています。

2 20～30歳代のスタッフで運営!

クラブの特徴的な部分としては、21名いるクラブスタッフ(有給)全員が20～30歳代の若い世代である点です。彼らの多くは古田さんの後輩や教え子たちです。地域のクラブで育った子どもたちがやがてクラブの指導者として帰ってくるという形が出来上がっています。

一方で、若者が「仕事」として総合型クラブで雇用するということは、容易なことではなく、スタッフの入れ替わりが多い現状があるそうです。古田さんは、「クラブで働く(雇用する)」ということ、若者にとってより魅力的にしていけることが今後の課題の1つであると語っています。

3 10年後のクラブビジョンとは?

平成14年にクラブが設立されて約10年間。この10年を振り返ると、設立当初、地域には子どもたちがスポーツできる環境がほとんど整備されておらず、スポーツをしたい子どもは近隣市町へ出向いていくしかありませんでした。それが、クラブが中心となって地域の子どものためにスポーツする機会を提供し続けた結果、多くの子どもたちが地域でスポーツする姿を見ることができます。また、地域の小・中学校の運動部活動では、クラブで育った子どもたちの活躍で県大会や地区ブロック大会へ進出する部活動も出てきており、スポーツの「普及」という観点では、一定の成果があったと古田さんは感じています。

今後の10年間に向けては、より良いスポーツ環境の整備と優秀なスポーツ選手の輩出、そして高齢者向けの事業の充実を図っていききたいと語っていました。

クラブプロフィール

設立年月日：平成14年4月（平成15年5月NPO法人格取得）

地 域：愛知県丹羽郡大口町

運 営：会員数 2,300名（平成25年度）

予算規模 2億円（平成25年度）

特 徴：子どもを対象とした種目を中心に、若い世代のスタッフが活躍しているクラブ

連 絡 先：NPO法人ウィル大口スポーツクラブ事務局

TEL・FAX：0587-95-1313

E-mail：

クラブHP：<http://www.will-oguchi.com/>